

Perpetual Pavements

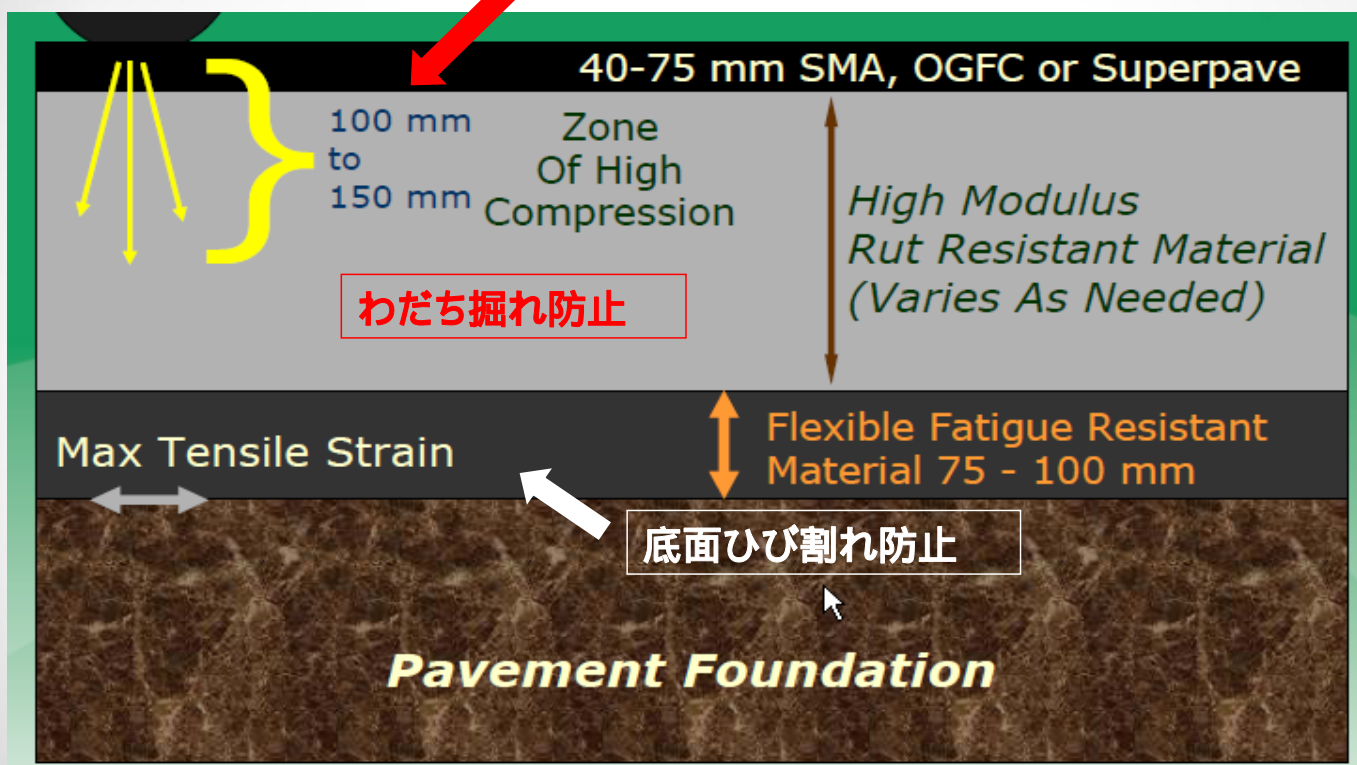
(財) 港湾空港建設技術サービスセンター

SCOPE

八谷 好高

Perpetual Pavements

補修しやすさ

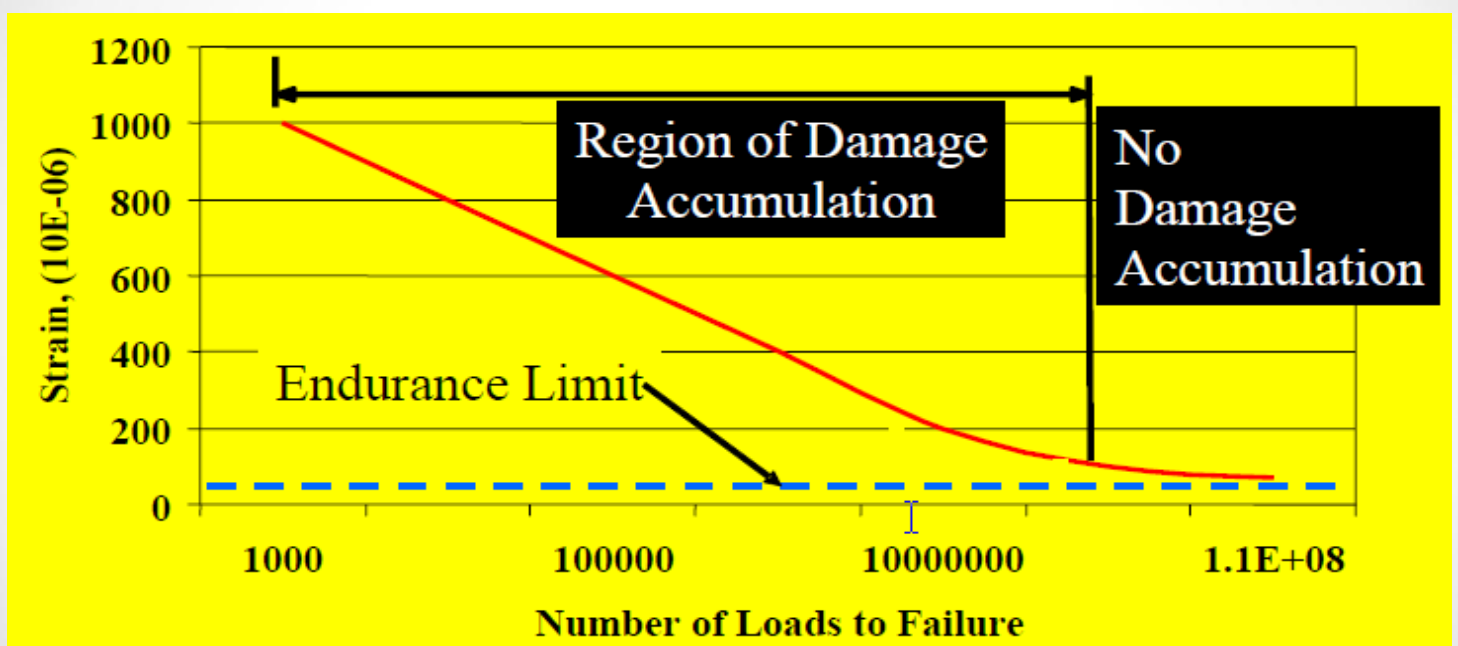


設計の考え方

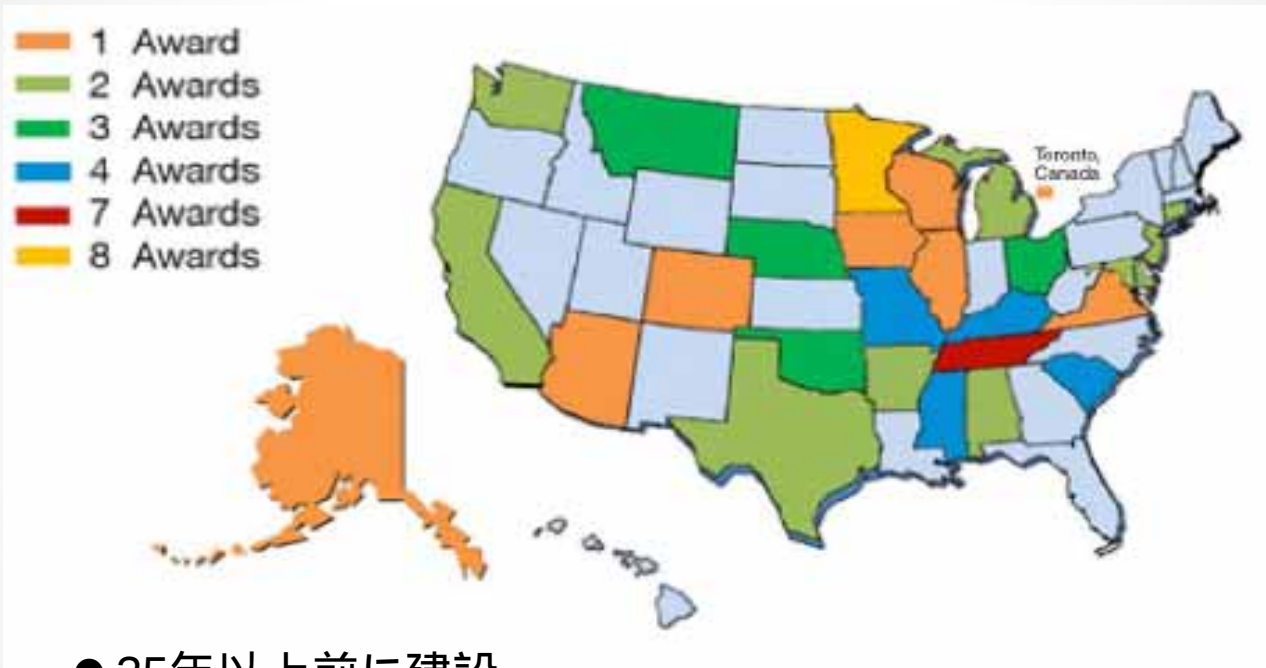
- 舗装の破壊をアス混層(HMA)に限定
→路床上面ひずみを 200×10^{-6} 以下に
路床のCBRは5%以上
- HMA下部はひび割れ防止
→底面ひずみを 65×10^{-6} (疲労限) 以下に
改質アスファルト／高アスファルト量
- HMA中間部はわだち掘れ防止
→骨材接触, 改質アスファルト, 繊維混入, 空隙率規定
- HMA上部は臨機応変
→要求性能, 補修しやすさ
低温ひび割れは補修



疲労限



US PP Awards



- 35年以上前に建設
- HMAを表基層に使用
- 補修により舗装が100mm以上厚くなっていない